

白熱灯による加熱実験結果

カーゴランプとして、図 1 に示す埋込み口（リセス）に白熱ランプが取り付けられていた。荷崩れ軽減の目的で材木はホールド内に隙間なく積付けられていて、ランプ表面から材木までの距離は 50mm 程度であった。



図 1 カーゴランプ埋込み口

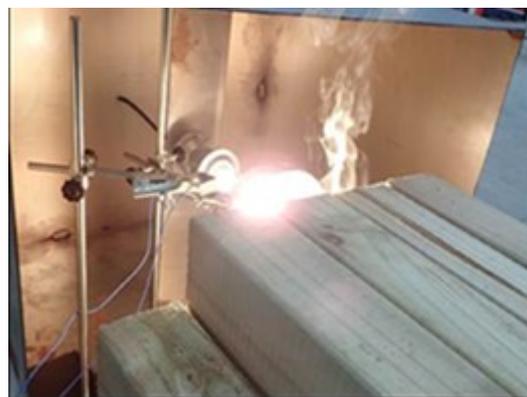


図 2 ランプによる木材加熱実験

当該条件で加熱試験を実施したところ、温度上昇から約 40 秒後に、ランプ表面 155°C、木材表面 114°Cの時に、木材から発煙が認められた。

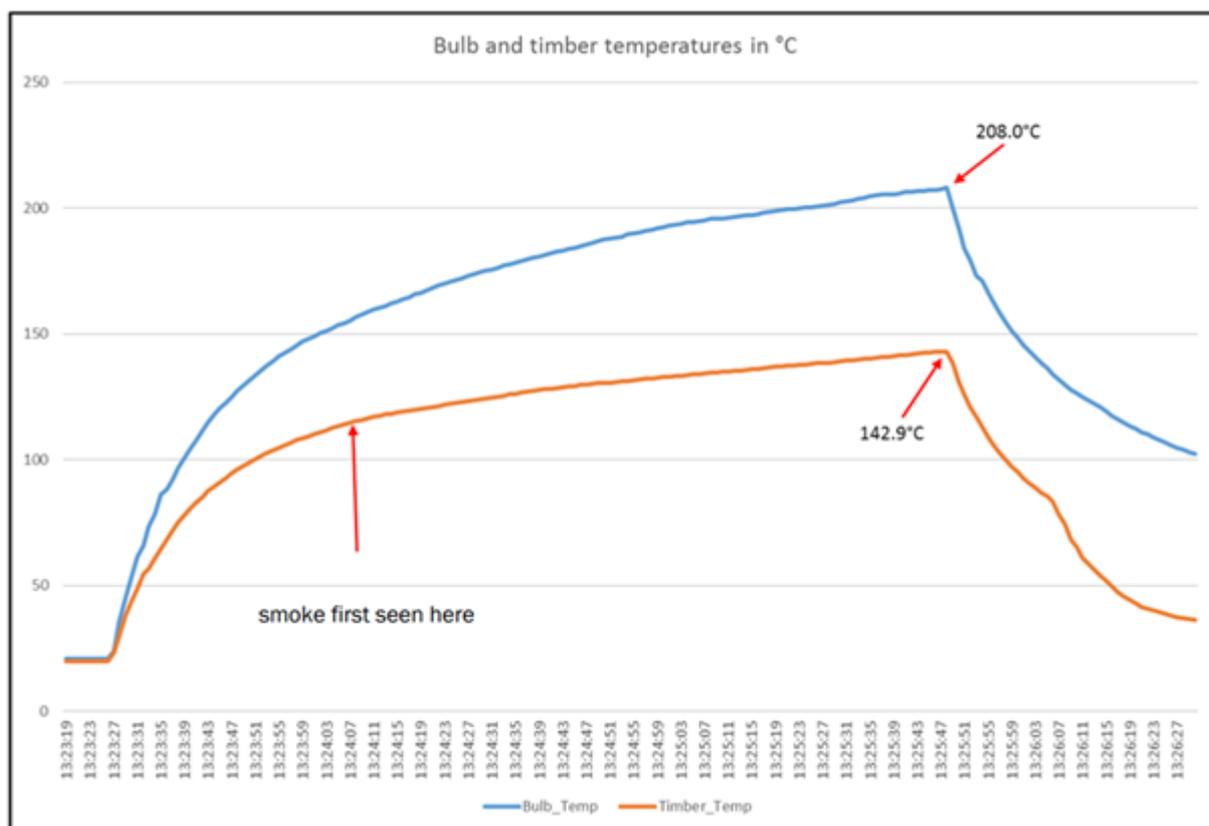


図 3 加熱実験による温度記録

(出典：New Zealand Transport Accident Investigation Commission 発行の報告書「MO-2017-205」からの一部抜粋)